

令和7年度 年間指導計画及び具体的な評価の方法	3年理科（物理分野 単元名：運動とエネルギー）	観点別学習状況 評価の観点	観点番号
		知識・技能	1
		思考・判断・表現	2
		主体的に学習に取り組む態度	3

月	指導事項区分		配当時間	指導内容 主な評価規準	観点番号	具体的な評価の方法
	単元	節				
4・5・6・7月	運動とエネルギー	1章 物体の運動	10	- 物体に力がはたらく運動および力がはたらかない運動についての観察、実験を通して、物体の運動には速さと向きがあること、力がはたらく運動では運動の向きや時間の経過によってもって物体の速さが変わること、および、力がはたらかない運動では物体は等速直線運動することを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身につける。【知識・技能】（知） - 物体の運動について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。【思考・判断・表現】（思） - 物体の運動に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】（態） 《評価規準》 - 運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） - 運動の規則性について、見通しをもって観察・実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。（思） - 運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（態）	1	単元テスト、レポート
8・9・10月		2章 力のはたらき方	8	- 物体の運動と力のはたらき方が関係する状況の観察、実験を通して、力のつり合いと合成・分解や、物体にはたらく力と物体の運動の規則性や関係性、水中の物体にはたらく力を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。（知） - 物体の運動の状態と力のはたらき方との関係について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のはたらき方と物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。（思） - 物体の運動と力のはたらき方が関係する状況に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。（態） 《評価規準》 - 力のつり合いと合成・分解、力のはたらき方と運動の規則性や関係性、水中の物体にはたらく力についての基本的な概念や原理・法則などを、日常生活や実社会の事象と関連づけながら理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） - 物体の運動の状態を力のはたらき方との関係について、見通しをもって観察・実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のはたらき方と物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。（思） - 物体の運動と力のはたらき方が関係する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（態）	1	単元テスト、レポート
11・12・1・2月		3章 エネルギーと仕事	13	- 仕事に関する観察、実験を通して、仕事と仕事率について、また、力学的エネルギーに関する観察、実験を行い、物体のもつ力学的エネルギーは物体が他の物体になしうる仕事ではかれること、運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わること、力学的エネルギーの総量は保存されることなどを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。（知） - 運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。（思） - エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。（態） 《評価規準》 - 力学的エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） - 力学的エネルギーについて、見通しをもって観察・実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。（思） - 力学的エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（態）	1	単元テスト、レポート
					2	単元テスト、レポート 探究活動
					3	ふり返り、探究活動

令和7年度 年間指導計画及び具体的な評価の方法	3年理科（地学分野 単元名：地球と宇宙）	観点別学習状況 評価の観点	観点番号
		知識・技能	1
		思考・判断・表現	2
		主体的に学習に取り組む態度	3

月	指導事項区分		配当時間	指導内容 主な評価規準	観点番号	具体的な評価の方法
	単元	節				
4・5・6・7月	地球と宇宙	1章 地球の運動と天体の動き	10	- 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身につける。【知識・技能】（知） - 天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。【思考・判断・表現】（思） - 天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかかわり科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】（態） 《評価規準》 - 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） - 天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。（思） - 天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（態）	1 2 3	単元テスト、レポート 単元テスト、レポート 探究活動 ふり返り、探究活動
8・9・10月		2章 月と金星の見え方	6	- 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身につける。【知識・技能】（知） - 月や金星の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。【思考・判断・表現】（思） - 月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかかわり科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】（態） 《評価規準》 - 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） - 月や金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。（思） - 月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（態）	1 2 3	単元テスト、レポート 単元テスト、レポート 探究活動 ふり返り、探究活動
11・12月		3章 宇宙の広がり	5	- 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身につける。【知識・技能】（知） - 太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。【思考・判断・表現】（思） - 太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】（態） 《評価規準》 - 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） - 太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。（思） - 太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（態）	1 2 3	単元テスト、レポート 単元テスト、レポート 探究活動 ふり返り、探究活動

令和7年度 年間指導計画及び具体的な評価の方法	3年理科（単元名：地球と私たちの未来のために）	観点別学習状況 評価の観点	観点番号
		知識・技能	1
		思考・判断・表現	2
		主体的に学習に取り組む態度	3

月	指導事項区分		配当 時間	指導内容 主な評価規準	観点 番号	具体的な評価の方法
	単元	節				
1 ・ 2 月	地球と私たちの 未来のために	1章 自然の中の生物	5	・日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身につける。【知識・技能】（知） ・ある生物の増減が他の生物の数に与える影響や微生物のはたらきの実験を通して、科学的に考察して判断する。【思考・判断・表現】（思） ・生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】（態） 《評価規準》 ・日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） ・植物が増加すると草食動物や肉食動物が時間を追うごとにその数が増減するかを考察することができる。微生物のはたらきの実験結果から、分解者の役割を考察し、判断することができる。（思） ・生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（態）	1	単元テスト、レポート
					2	単元テスト、レポート 探究活動
					3	ふり返り、探究活動
		2章 自然環境の調査と保全	5	・日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全について理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身につける。（知） ・身近な自然環境を調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全のあり方について、科学的に考察して判断する。（思） ・生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。（態） 《評価規準》 ・日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） ・生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。（思） ・自然環境の保全や自然とヒトの関わりについて探究し、自然環境の保全や自然との向かい合い方に関して自らの考えをもつことができる。（態）	1	単元テスト、レポート
					2	単元テスト、レポート 探究活動
					3	ふり返り、探究活動
		自然災害と地域のかかわりを学ぶ	3	・日常生活や社会と関連づけながら、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。（知） ・地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断する。（思） ・環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。（態） 《評価規準》 ・日常生活や社会と関連づけながら、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） ・地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。（思） ・地域の自然災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり、ふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（態）	1	単元テスト、レポート
					2	単元テスト、レポート 探究活動
					3	ふり返り、探究活動

2月		3 章 科学技術と人間	7	・人間は水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知るとともに、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識する。また、物質に関する観察、実験などを通して、日常生活や社会では、さまざまな物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、物質の有効な利用が大切であることを認識する。さらに、科学技術の発展の過程を知るとともに、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知) ・日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術のあり方について、科学的に考察して判断する。(思) ・エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。(態) 《評価規準》 ・日常生活や社会と関連づけながら、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) ・日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術の利用について、観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。(思) ・エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(態)	1	単元テスト、レポート
					2	単元テスト、レポート 探究活動
					3	ふり返り、探究活動
3月		持続可能な社会のために	5	・日常生活と社会とを関連づけながら、科学技術が人々の生活を豊かにし、人間の経済活動が環境に変化をあたえていることを理解するとともに、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識し、科学的視点で持続可能な社会について調べる技能を身につける。(知) ・多様な情報からエネルギーや資源、自然環境についての問題を見だし、調査や文献などの科学的知見を分析し、経済活動と環境保全のあり方について、科学的に考察して判断する。(思) ・義務教育段階の理科をふり返り、科学の有効性を判断し、環境に関する科学的調査を計画し、持続可能な社会の実現に向けてねばり強く討論する。(態) 《評価規準》 ・経済活動と資源、環境を関連づけながら、生物相の変化、資源の減少などを理解し、それに対する科学技術や社会的取り組みから、持続可能な社会に向けた行動判断のもとになる科学的調査（文献調査もふくむ）の技能を身につけている。(知) ・これまでの理科学習について進んでふり返り、持続可能な社会の実現案を出すための探究を計画し、科学的に探究しようとしている。(態)	1	単元テスト、レポート
					3	ふり返り、探究活動